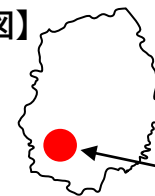


就農支援コーディネーターの採用によるきめ細やかな就農支援

- 岩手県の中では比較的温暖で、過ごしやすい気象条件のなかで、米、牛、野菜、りんごなど多様な農産物を生産している。
- 江刺金札米や前沢牛、江刺りんご等のブランド化に成功しており、農業生産額は県内トップクラス。

【位置図】



岩手県奥州市

取組前

- 市の担当者は制度や事業の事務的な助言はできるが、農業の専門知識が乏しいため、新規就農者への営農のサポートや、関係機関における農業分野の多面的な連携においては力不足となっていた。
- 青年等就農計画作成において、それぞれの関係機関の助言を俯瞰的にまとめる人がおらず、計画達成のためのフォローも乏しかった。

取組内容

- R5年10月より、就農支援コーディネーターが着任。
- 新規就農者の経営状況確認の巡回や月1回行われている就農相談会に参加。
- 青年等就農計画の審査会において就農支援コーディネーターが対応することで、より精度の高い審査・認定を行えるようになった。

取組後(成果)

- 営農、農地の確保、作目等の選択や作業のアドバイスなど、就農における全般的な相談や営農に踏み込んだ相談を受けられるようになった。
- 定期的な巡回により、作目の育成状況や喫緊の困りごとを早期に確認し、必要なサポートにつなげることができている。
- 青年等就農計画の作成において専門知識を生かし、各種制度、営農計画などの精度が向上した。
- 新規就農者数
過去3年平均(R2～R4)31人
→R5:30人、R6:42人

【サポート体制】

【相談窓口】

関係機関で情報共有

岩手県農業経営・就農支援センター

市
(就農サポートセンター、就農支援コーディネーター)県
(農業改良普及センター)

JA

【就農相談窓口の日 (ワンストップ窓口)】

※関係機関が同時に相談対応

- ・農業体験会
- ・現地見学会
- ・経営状況確認等の巡回
- ・青年等就農計画の相談・審査
- ・随時相談受付

新規就農者や研修生の声

- 市の担当者は異動で変わってしまうし、制度の相談はできるが農業に詳しいわけではないので、うまく話せないこともあった。営農のことや機械のことなど、気軽に相談できる方ができてよかった。

サポート体制構築事業 活用年度：令和5～6年度

【問合せ先】岩手県奥州市農林部農政課

TEL：0197-34-1582

E-mail：nousei@city.oshu.iwate.jp

HP：https://www.city.oshu.iwate.jp